

令和6年度に実施した三重県計画事業の目標達成状況一覧表(医療分)

○:目標を達成したもの、△:概ね達成したもの・複数ある目標のうち一部を達成したもの、×:目標を達成できなかったもの(各事業の事業評価の詳細は「参考資料1:令和6年度三重県計画に関する事後評価」のとおり)

	事業名	事業の区分 (注1)	区域名	事業の実施主体	実績(単位:円) (基金充当額)	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考(未達成事業の対応方針等)	担当課
1	ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤整備事業	-1	桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	5,206,000	三重医療安心ネットワークの参加施設数338か所(R4.12)を370か所(R7.3)にする。	令和6年3月末時点で、三重医療安心ネットワークの参加施設数は369か所となった。		目標の約99%の参加施設数となり、地域連携クリティカルパスの円滑な運用及び、県内における安心・安全かつ切れ目のない医療提供体制の充実に向け、おおむね目標は達成できた。引き続き、参加施設の拡大に向け、三重医療安心ネットワークの周知に努めたい。	医療政策課
2	県内病院間のシームレスな医療情報連携に向けた医療DX基盤の整備事業	-1	桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	38,161,200	基盤整備により、医療情報連携に取り組む施設として5施設を確保する。	令和6年度は、医療DXの基盤構築に取り組んだため目標は達成できなかった。	×	令和7年度は、基盤の構築を進めながら連携施設の確保に努めたい。	医療政策課
3	がん診療体制整備事業	-1	桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関、緩和ケアネットワーク協議会、市町	25,201,700	県内のがん診療に関わる設備の整備を行う医療機関を4か所以上確保する。	令和6年度は、県内のがん診療に関わる設備の整備を2か所の医療機関で実施した。	×	引き続き、がん医療の水準の向上に資する設備整備を進める医療機関に対し事業の周知を行い、がん医療提供体制の強化を図る。	医療政策課
4	がん遠隔手術支援等環境整備事業	-1	桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	8,085,000	ネットワーク参加病院数を4か所以上とする。	令和6年度に新たに1か所の医療機関で遠隔手術支援環境整備を実施し、ネットワーク参加病院数は計3か所となった。		手術支援ロボットを保有または導入予定の県内医療機関に対し、事業目的・内容を丁寧に説明し、ネットワーク参加病院数の増加を図る。	医療政策課
5	病床機能分化推進基盤整備等事業	-1	桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関、三重県	31,728,000	補助を活用し病床規模の適正化に取り組む施設数を1か所確保する。	令和6年度は、病床規模の適正化に取り組む医療機関1か所に対して補助を実施した。	○		医療政策課
6	病床機能再編支援事業	-2	桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関、三重県	45,600,000	対象となる医療機関数 2医療機関	令和6年度に基金を活用して再編を行う医療機関は、2医療機関となり、急性期病床が35床減少した。	○		医療政策課
7	在宅医療体制整備推進事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域	都市医師会等	1,981,800	在宅医療体制の整備に取り組んだ医師会数3か所(令和5年度実績)を5か所にする。	在宅医療体制整備推進(人材育成)事業を4医師会に委託して実施した。		5か所を目標としていたが、4か所でとどまってしまった。次年度は在宅医療体制整備の重要性の周知を徹底し、整備に取り組む医師会の増加に努める。	長寿介護課
8	医療的ケアを必要とする障がい児・者の受け皿整備事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	500,000	医療的ケア児・者の緊急時の受入に対応するための事業所数(現状値34か所)を35か所にする(令和6年度)。	医療的ケア児・者の緊急時の受入に対応するための事業所数:38か所(令和6年度末)。	○		障がい福祉課
9	小児在宅医療・福祉連携事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重大学医学部附属病院	16,310,000	小児在宅医療に係る研究会及び医療・福祉・教育関係施設に従事する看護師を対象とした研修会の参加者数延べ300人以上を確保する。	小児在宅研究会、小児在宅医療実技講習会・講演会、小児セラピー研究会、訪問看護師を中心としたスキルアップ研修会を実施し、延べ802人の参加者を得た。	○		医療政策課

	事業名	事業の区分 (注1)	区域名	事業の実施主体	実績【単位:円】 (基金充当額)	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考(未達成事業の対応方針等)	担当課
10	三重県在宅医療推進懇話会の運営		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	422,979	懇話会の開催回数2回以上を確保する。	懇話会を2回開催した。	○		長寿介護課
11	保健師ネットワーク体制強化事業		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	610,814	中堅リーダー技術研修1回、保健所等におけるネットワーク会議・研修会の開催回数1回以上を確保する。	中堅リーダー技術研修1回、保健所ごとにおけるネットワーク会議・研修会は計54回開催した。	○		健康推進課
12	在宅医療普及啓発事業		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(都市医師会委託)	3,552,549	普及啓発事業に取り組んだ医師会数9か所(令和5年度実績)を10か所にする	12カ所の医師会で実施した。	○		長寿介護課
13	在宅医療体制整備事業		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県医師会等委託)	550,000	研修参加者を70名以上とする。	在宅医療に関わる従事者を対象にカスタマーハラスメントに関する研修会を開催し、50名の方が参加した。	×	70名以上を目標としていたが届かなかった。次年度は参加の少なかった業種の在宅医療従事者への周知に努める。	長寿介護課
14	在宅医療推進のための看護師研修事業		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	2,123,000	訪問看護ステーション及び医療機関等の看護師を対象に研修会を実施し、研修参加者30人以上を確保する。	研修参加者は延べ26人であった。		次年度は終了後アンケートの結果をふまえ、研修内容の充実や周知の強化に努めることで、さらなる研修受講者の増加を図る。	医療人材課
15	訪問看護総合支援センター事業		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重県訪問看護ステーション協議会)	6,429,500	訪問看護事業所へのアドバイザー派遣を3箇所以上実施し、訪問看護事業所の安定した運営が確保される。	訪問看護事業所へのアドバイザー派遣を4箇所行い、安定した運営の支援を行った。	○		長寿介護課
16	訪問看護事業所の安全確保対策事業		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重県訪問看護ステーション協議会)	23,000	安全確保対策を講じるための費用の補助1,000件/年	安全確保対策を講じるための費用の補助1件	×	1000件を目標にしていたが届かなかった。補助金への申請自体が少なかったため、申請方法の改善や申請条件の改善に努める。	長寿介護課
17	新任訪問看護師就労支援事業		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内訪問看護ステーション	11,567,000	訪問看護師60人分の補助を行う。(令和6年度)	訪問看護師108人に補助を行った。(令和6年度)	○		医療人材課
18	認知症ケアの医療介護連携体制構築事業		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重大学医学部附属病院、三重県医師会	6,480,000	三重県認知症連携バス(脳の健康みえる手帳)を活用した認知症スクリーニング実績を累計711件(令和2年度)から1,100件(令和6年度)にする。	三重県認知症連携バス(脳の健康みえる手帳)を活用した認知症スクリーニング実績の累計(平成27年度～)が、1,124件(令和6年度)となった。(令和5年度110件、令和6年度110件)	○		長寿介護課
19	精神障がい者アウトリーチ体制構築事業		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県内医療機関委託)	18,678,634	多職種チームを従来の3カ所の障害保健福祉圏域に新たに1カ所を加え4カ所において設置する。 令和6年度は各チーム合同の事例検討会等を開催する。	多職種チームを3カ所の障害保健福祉圏域において設置することは継続できたが、多職種チームを設置できる専門機関は限られることもあり、新たに追加するには至らなかった。各事業受託医療機関、各圏域管轄保健所及び県庁主管課が参加する各チーム合同の事例検討会を開催した。		引き続き多職種チームを設置する圏域の増加に取り組む。	健康推進課
20	地域口腔ケアステーション機能充実事業		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県歯科医師会(都市歯科医師会)・県歯科衛生士)	65,958,314	在宅及び医科歯科連携に係る研修会を2回以上実施する。	在宅及び医科歯科連携に係る研修会を10回実施した。	○		健康推進課
21	薬剤師在宅医療推進事業		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	一般社団法人三重県薬剤師会	3,378,000	在宅医療アドバンス研修の受講者数を80人以上とする。	在宅医療アドバンス研修の受講者数は92人であった。	○		薬務課
22	薬剤師在宅医療高度スキル支援事業		桑名区域、三洲区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	一般社団法人三重県薬剤師会	1,300,000	高度医療材料等に対応できるスキルを有する薬剤師数を80人以上養成する。	高度医療材料等に対応できるスキルを有する薬剤師数を245人養成した。	○		薬務課

	事業名	事業の区分 (注1)	区域名	事業の実施主体	実績[単位:円] (基金充当額)	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考(未達成事業の対応方針等)	担当課
23	居宅療養患者の薬剤誤嚥防止のための摂食嚥下機能訓練支援事業		三泗地域	一般社団法人四日市薬剤師会	504,000	情報提供のための連携シート活用数を年間10件以上とする。	情報提供のための連携シートの活用数は年間0件	×	事業開始初年度であり、連携シートの作成や事業周知などに時間を要したため、シートの活用開始が遅れたことから年間の活用数は目標達成に至らなかった。今後は、連携シート運用のためのマニュアルに沿って、歯科医師会及び歯科医院と連携し活用を進めていきたい。	薬務課
24	看護職のリーダー養成事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(一部県訪問看護ステーション協議会委託)	1,215,112	研修会を年2回開催する。	研修会を2回開催し、研修参加者は29人であった。	○		医療人材課
25	在宅医療看取り体制整備促進事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県医師会委託)	760,001	県内2会場で死体検案等研修会を開催し概ね40名程度の受講者を見込む。	県内2会場で死体検案等研修会を開催し、36名が受講した。		目標員数の90%の参加者となり、参加者36名の資質向上が実現し、おおむね目標は達成できた。来年度以降は、今年度の受講者アンケートの結果を踏まえ、より効果的な研修内容の充実に努めるとともに、関係機関内での周知を促進することで、さらなる研修受講者の増加に努める。	医療政策課
26	地域医療支援センター運営事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	46,369,369	医師確保対策及び地域枠医師の派遣調整に係る協議を年4回以上開催する。	地域枠医師の派遣調整に係る協議を6回開催した。	○		医療人材課
27	地域医療支援センター運営事業(三重県医師修学資金貸与制度)		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	332,172,364	貸付者総数907人(令和5年度)を952人(令和6年度)にする。なお、この増分には、三重大学地域枠入学者(定員35名、うち臨時定員20名)を含む。	貸付者総数907人(令和5年度)が951人(令和6年度)となった。		一般枠の申込者数が5名と想定より少なかったため、次年度は一般枠の申込者数の増加に向けてチラシ等を用いた周知の強化に努める。	医療人材課
28	医師派遣等推進事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	11,587,000	医師派遣の実施月数12か月を維持する。	令和6年度の医師派遣医師派遣数実績は3名、派遣実施月数は12か月となった。	○		医療人材課
29	臨床研修医定着支援事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	MMC卒後臨床研修センター	13,815,000	令和6年度に募集する県内の病院で新たに臨床研修を開始する研修医数を135人にする。	県内で新たに臨床研修を開始する研修医数154人(令和7年度当初時点)	○		医療人材課
30	地域医療対策協議会の調整経費		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	1,488,867	地域医療対策協議会の開催回数3回以上を確保する。(令和6年度)	地域医療対策協議会を4回開催した。(令和6年度)	○		医療人材課
31	産科医等確保支援事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	53,024,000	手当支給施設数25か所以上を確保する。	令和6年度、本事業の支援により25医療機関に対する支援を行った。	○		医療人材課
32	産科医等育成支援事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	800,000	手当支給施設数1か所以上を確保し、手当支給者数2人以上を確保する。	産科専攻医への処遇改善支援する医療機関を1か所確保し、2名の産科専攻医へ研修医手当を支給した。	○		医療人材課
33	新生児医療担当医確保支援事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	1,997,000	手当支給施設数3か所以上を確保する。	本事業により、3医療機関に対し支援を行った。	○		医療人材課
34	救急医療人材確保事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	二次救急医療機関	79,501,000	非常勤医師を確保し、病院群輪番制等により救急対応した二次救急医療機関の対応延べ日数1,886日(H30)を1,900日(R6)にする。	非常勤医師を確保し、病院群輪番制等により救急対応した二次救急医療機関の対応延べ日数は2,286日であった。	○		医療政策課
35	医師不足地域の医療機関への医師派遣体制の構築		伊賀区域	名張市	6,000,000	名張市立病院及び小児救急医療センターへ医師の派遣を行う。	当該事業により、名張市立病院小児科に常勤医師1名、小児救急医療センターに非常勤医師の派遣を行った。	○		医療人材課
36	三重県プライマリ・ケアセンター整備事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県立一志病院委託)	9,630,000	医学生・看護学生をはじめとした医療従事者等をめざす学生の教育・育成を進めるため、プライマリ・ケアにかかる研修会等(3回以上/年)を実施し、150名以上(各回50名程度×回数)の参加を目標とする。	研修会を5回開催し、参加者数は延べ197名であった。	○		医療人材課

	事業名	事業の区分 (注1)	区域名	事業の実施主体	実績[単位:円] (基金充当額)	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考(未達成事業の対応方針等)	担当課
37	総合診療医広域育成支援事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重大学医学部附属病院	1,525,000	総合診療に係る教育を受けた学生や臨床研修医等の人数 (のべ200人/年) 総合診療専門研修プログラムの広報件数(5件/年) 資質向上に係る研修等を受けた指導医数(延べ80人/年)	総合診療に係る教育を受けた学生や臨床研修医等の人数 (のべ260人/年) 総合診療専門研修プログラムの広報件数(8件/年) 資質向上に係る研修等を受けた指導医数(15人/年)		総合診療医確保・養成のため、引き続き支援を図る。	医療人材課
38	結核医療等を担う呼吸器内科医等の確保・育成支援事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	4,899,000	結核医療等を担うことの出来る専門性を有する医師等の確保・育成を行うとともに、医師等医療従事者に対する研修を年2回以上実施する。	医師、医療従事者を対象とした事例検討や研修会(2回)を実施し、結核医療に携わる医療従事者の人材育成を行った。また、医師等からの結核診療に関する相談を実施した。	○		感染症対策課
39	産科・小児科専門医確保対策事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関(産科、小児科専門研修基幹施設)、三重	1,107,561	産科・小児科に関するセミナーや専門研修プログラムの説明会といった診療科の魅力を伝える取組の開催及び参加に対する支援を、産科2施設、小児科1施設に対して行う。	産科・小児科に関するセミナー等の参加支援を、産科2施設に対して行った。		三重大学小児科のセミナー回数の減少等により、補助金の活用に繋がらなかったことから、目標達成に至らなかったと考えられる。セミナーへの参加等を促進するため、積極的に制度の周知を行うとともに、制度の利用をしやすいするため、基準額の制限等の見直しに努めたい。	医療人材課
40	周産期新生児科の指導医育成事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重大学医学部附属病院	12,000,000	周産期新生児科の指導医を育成する医療機関1施設を支援する。	周産期新生児科の指導医育成に関するセミナー等の参加支援を、1施設に対して行った。	○		医療人材課
41	産前産後医療機関等連携体制強化事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	1,222,000	検討会の開催(年2回以上)、研修会の開催(年1回以上) 産婦人科と小児科との連携件数(延べ65件以上)、産婦人科・小児科と精神科との連携件数(延べ5件以上)	検討会を2回開催、研修会を1回開催 産婦人科と小児科との連携件数は延べ65件、産婦人科・小児科と精神科との連携件数0件。		産婦人科・小児科と精神科との連携において目標達成に至らなかったため、引き続き本事業の普及・啓発を行い、より効果的な事業の実施に努めてい。	子どもの育ち支援課
42	新興・再興感染症に対応できる公衆衛生人材の確保事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	15,400,000	毎週1回1名、三重大学から保健所等行政機関へ公衆衛生医師を派遣する。(5年間継続派遣)	週1回の公衆衛生医師の派遣はできなかったが、保健所の感染症対策業務を担う職員を対象とした研修会への講師派遣を行うとともに、三重大学大学院医学系研究科公衆衛生・産業医学・実地疫学分野の感染症対策に関する講義を保健所職員がオンラインで受講できるようにすることで、感染症対策を担える公衆衛生医師等の保健所職員の人材育成等につなげた。		公衆衛生医師の派遣に替えて、感染症対策に関する研修会や講座の開催・受講を通じて、感染症対策業務の中核を担う保健所の医療職(公衆衛生医師、保健師等)の確保・育成につなげることができた。次年度に向けて、三重大学と寄附講座の内容を調整し、公衆衛生医師をはじめ、感染症対策に関わる保健所職員等のより一層効果的・効率的な人材育成につながるカリキュラムづくりに努める。	医療保健総務課
43	麻酔科専門医等育成事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重大学医学部附属病院	5,450,000	1施設の取組を支援し、初期臨床研修医向けのセミナーを1回開催する。	初期臨床研修医向けのセミナーを9回開催した。	○		医療人材課
44	小児救急地域医師研修事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	市町	136,000	小児初期救急医療研修を受講した医師数(令和4年度実績100人)を118人(令和6年度実績)にする。	小児初期救急医療研修を1地域で2日実施し、208人が受講した。	○		医療政策課
45	女性医師等就労支援事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内病院、三重県(県医師会委託)	9,134,840	子育て医師等の復帰支援に取り組む病院数を5か所以上にする。	子育て医師等の復帰支援に取り組む病院数は5か所であった。	○		医療人材課
46	歯科技工士確保対策・資質向上事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(一部県歯科技工士会委託)	2,324,800	年間の研修受講者数を200人以上とする。	研修会開催回数:10回(参加者数:239人(R7.3))	○		健康推進課
47	薬剤師への復職・転職サポート推進事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	一般社団法人三重県薬剤師会	957,000	研修会の参加人数を20人以上とする。	研修会の参加人数は11人となった。	×	研修の参加人数を20人以上とすることを目標としていたが、研修の日程の一部が天候不良(大雪)のため中止となったため、目標達成に至らなかった。今後は、研修会の開催方法や情報発信の方法についても検証する。	薬務課
48	新人看護職員研修事業補助金		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	23,559,000	新人看護職員研修補助により、年間600人以上の参加者数を確保する。	新人看護職員研修補助により、年間638人の参加者数を確保した。	。		医療人材課
49	保健師助産師看護師実習指導者講習会事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	2,922,700	実習指導者講習会の受講者数60人以上を確保する。	実習指導者講習会の受講者数は46人であった。		次年度は終了後アンケートの結果をふまえ、講習会内容の充実や周知の強化に努めることで、さらなる受講者の増加を図る。	医療人材課

	事業名	事業の区分 (注1)	区域名	事業の実施主体	実績【単位:円】 (基金充当額)	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考(未達成事業の対応方針等)	担当課
50	潜在看護職復職研修事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	2,423,300	潜在看護職員を対象とした研修会を複数の地域で開催し、研修参加者数30人以上を確保する。	2地域で研修会を開催し、潜在看護職員の参加者数は29名であった。		引き続き、研修会について周知を行うとともに、働きやすい職場環境づくりを進めることで、再就業の促進を図っていく。	医療人材課
51	看護教員継続研修事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重県看護学校校長会委託)	825,000	看護教員継続研修参加者数延べ80名以上を確保する(令和6年度)。	看護教員継続研修参加者数は、延べ98名であった(令和6年度)。	○		医療人材課
52	CNA(認定看護管理者)等フォローアップ事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	815,100	CNA(認定看護管理者)等フォローアップ研修会参加者数延べ100人以上を確保する(令和6年度)。	CNA(認定看護管理者)等フォローアップ研修会参加者数は、延べ221人であった。	○		医療人材課
53	看護職員キャリアアップ支援事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	9,789,000	特定行為研修受講者10人分の補助を行う。 感染管理認定看護師研修受講者15人分の補助を行う。 助産師出向者5人分の補助を行う。	感染管理認定看護師教育課程受講者12人分の補助を行った。 特定行為研修受講者15人分の補助を行った。 助産師出向者2人分の補助を行った。		令和6年度は、助産師出向支援導入事業にて2組の医療機関間で計2人の助産師が出向し、補助制度の利用者は2人であった。引き続き、助産師出向システムのほか、補助制度の周知に努める。	医療人材課
54	新人看護職員研修事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会、県立看護大学委託)	5,344,740	多施設合同研修に参加した(延べ)人数500人以上を確保する。 新人助産師合同研修への参加者数25人以上を確保する。	多施設合同研修への参加者数は、延べ538人であった。 新人助産師合同研修への参加者数は、29人であった。	○		医療人材課
55	がん医療水準均てん化の推進に向けた看護職員資質向上対策事業		桑員区域、三泗区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重大学医学部附属病院委託)	1,903,000	研修受講者数9人以上を確保する。	研修受講者数は14人であった。	○		医療人材課

	事業名	事業の 区分 (注1)	区域名	事業の 実施主体	実績[単位:円] (基金充当額)	事業の目標	事業の達成状況	目標 達成 状況	備考(未達成事業の対応方針等)	担当課
56	助産師活用推進事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県立看護大学委託)	611,650	助産師(中堅者・指導者)研修への参加者数30人以上を確保する。	参加者数は41人であった。	○		医療人材課
57	周産期医療従事者実践能力向上研修事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県産婦人科医会委託)	770,033	助産実践能力向上研修への参加者数100人以上を確保する。	研修参加者数は115人であった。	○		医療人材課
58	看護管理者の院内・地域内継続学習の推進事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重大学医学部附属病院委託)	910,800	CNMLの養成研修会を開催し、15人以上養成する。	CNMLの養成研修会への参加者数は、延べ18人であった。	○		医療人材課
59	特定行為研修制度普及促進事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	1,807,264	医療機関長や看護管理者等に対して特定行為の理解を促進するための説明会を年2回以上実施する。	説明会 & 相談会を2回開催した。	○		医療人材課
60	看護職のWLB推進事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	8,080,930	勤務環境改善に取り組む医療機関を対象に、看護業務の効率化等についての研修を実施し、研修参加者数100名以上を確保する。	看護業務の効率化等についての研修を5回開催し、研修参加者数は113人であった。	○		医療人材課
61	看護師等養成所運営費補助金		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	看護師等養成所	220,993,000	看護師等養成所12施設に補助をする(令和6年度)。	看護師等養成所12施設に対して運営費補助を行った。	○		医療人材課
62	看護師等養成所実習施設確保推進事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	4,662,000	母性看護、小児看護及び助産の実習受入施設数10か所以上を確保する。	実習受入施設数12か所	○		医療人材課
63	専任教員養成講習会事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重大学委託)	3,777,400	講習会受講者数30人以上を確保する。	講習会受講申込者数は、12人であった。	×	引き続き専任教員の魅力を発信することで、看護教員の担い手を増やし、看護教育の質を向上させ、県内看護師等学校養成所の退学者数の減少及び県内就業者数の増加を図っていく。	医療人材課
64	看護職員確保拠点強化事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	18,940,515	ナースバンク新規登録者数500人以上を確保する。	ナースバンク新規登録者数は390人であった。		ナースセンターの周知等が不十分で、目標達成に至らなかったと考えられる。看護職員の総数確保に向けて、ナースセンターの周知を行い、ナースバンク登録者を確保し、看護職員の復職につなげていく。	医療人材課
65	薬剤師確保計画推進会議運営事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	255,481	関係団体との会議を4回以上開催する。	関係団体との会議を4回開催した。	○		薬務課
66	医療勤務環境改善支援センター事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県医師会委託)	5,837,000	医療勤務環境マネジメントシステムの導入・定着支援を行う医療機関数5か所以上を確保する。	医療勤務環境マネジメントシステムの導入・定着支援を行うため、5件以上の医療機関へ個別支援を行った。	○		医療人材課
67	病院内保育所運営支援事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	39,926,000	病院内保育所の運営を通じて、看護職員等医療従事者の離職防止等に取り組む医療機関数25か所以上を確保する。	24時間保育を行う7施設、病児等保育を行う2施設、児童保育を行う2施設、休日保育を行う9施設に対する加算補助を含む保育所運営費補助を行い、病院内保育所運営を通じて、看護職員等医療従事者の離職防止等に取り組む医療機関数24か所を確保した。		目標の96%にあたる25医療機関を補助することができ、おおむね目標は達成できた。次年度も申請受付開始時に県内認定保育園等への周知を行うことで、さらなる補助対象医療機関の増加に努める。	医療人材課
68	小児救急医療支援事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	二次救急医療機関	15,138,000	常勤医師を確保し、病院群輪番制等により小児救急に対応した二次救急医療機関の対応延べ日数1,069日(令和4年度実績)を令和6年度も確保する。	常勤医師を確保し、病院群輪番制等により1,069日小児救急に対応した。	○		医療政策課
69	小児救急医療拠点病院運営支援事業		桑名区域、三河区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重病院	39,446,000	小児救急診療体制3人(医師1人、その他2人)(令和元年度実績)を令和6年度も確保する。	小児救急診療体制3人(医師1人、その他2人)を確保した。	○		医療政策課

	事業名	事業の 区分 (注1)	区域名	事業の 実施主体	実績【単位：円】 (基金充当額)	事業の目標	事業の達成状況	目標 達成 状況	備考(未達成事業の対応方針等)	担当課
70	小児救急電話相談事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(委託)	16,499,209	電話相談件数13,953件(令和5年度実績、過去最高件数)以上にする。	電話相談件数は13,425件であった。		電話相談件数は昨年度よりも528件減少している。今後は令和7年度から多言語(22言語)対応を開始したことも含め、関係機関へ周知、啓発を実施していく。	医療政策課
71	薬剤師を職業として選択するための中高生への啓発事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	一般社団法人三重県薬剤師会	1,000,000	講義や職場見学・職場体験者数を6,000人以上とする。	講義や職場見学・職場体験者数は13,212人であった。	○		薬務課
72	県外医師等の確保対策・情報発信事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	1,850,000	県内で活躍する医師1名を取材して情報発信する。県内病院を見学しようとする医学生35名、研修医等5名に対し、費用助成を行う。医師不足地域へ赴任する医師1名に赴任等費用助成を行う。	県内で活躍する医師4名を取材し情報発信を行った。県内病院を見学した医学生14名に対し、費用助成を行った。		県内病院を見学する医師・研修医に対する助成金及び医師不足地域へ赴任する医師に対する助成金については、令和6年9月に要項を制定し助成を開始したため、目標の達成には至らなかった。次年度は県外イベントでの広報活動に注力し、助成対象者の増加に努める。	医療人材課
73	へき地オンライン診療体制整備事業		津区域(一部)、松阪区域(一部)、伊勢志摩区域(一部)、東紀州区域	へき地診療所を有する市町、へき地医療拠点病院	5,520,000	へき地におけるオンライン診療の新規実施施設数 2施設	へき地におけるオンライン診療の新規実施施設数は、4施設となった。	○		医療人材課
74	食事療養提供体制確保事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	61,411,680	食事療養提供体制の確保を行う病院(有床診療所)への支援数	病院:計92施設中、91施設から申請あり 有床診療所:計64施設中、41施設から申請あり 特に病院については、ほぼ全ての施設から申請があり、有床診療所も約2/3の施設から申請があり、支援を行うことができた。	○		医療政策課
75	地域医療勤務環境改善体制整備事業		桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	204,200,000	補助対象医療機関数1か所以上を確保する。	補助対象医療機関を2か所選定し、補助した。	○		医療人材課
76	単独支援給付金支給事業	-2	桑員区域、三酒区域、鈴亀区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	0	対象となる医療機関数 5医療機関	令和6年度に再編を進める予定であった医療機関が再編を次年度に延期したため、支給対象がなかった。	×	翌年度以降の削減について医療機関と引き続き調整する。	医療政策課